

議事録

会 議 名 称	第 1 回 R P A ・ A I - O C R 導入事業委託事業者公募型プロポーザル選定委員会
開 催 日 時	令和 7 年 4 月 17 日 (木) 午前 10 時
開 催 場 所	守口市役所本館 7 階 会議室 701
委員出席者	内橋委員長 (企画課長) 湯川副委員長 (人事課長) 岩崎委員 (課税課長) 仲嶋委員 (健康福祉部保険・健康政策監 (兼) 保険課長)
事 務 局	行財政改革・D X 推進課 大下課長、藤原主任、鈴木
議 事	1 開会 2 実施要領、仕様書、審査要領について 3 その他連絡事項 4 閉会
会 議 資 料	・ R P A ・ A I - O C R 導入事業委託事業者公募型プロポーザル実施要領 (案) ・ R P A ・ A I - O C R 導入事業仕様書 (案) ・ R P A ・ A I - O C R 導入事業委託事業者公募型プロポーザル審査要領 (案)
議事録の作成方法	要点筆記

1 開会	
委員長	・ 開会の挨拶 ・ 委員のうち出席者 4 名、欠席者 1 名により定足数の出席を確認 ・ 議事の確認
2 実施要領、調達仕様書、保守仕様書、審査要領について	
事務局	・ RPA、AI-OCR の概要、令和 6 年度までの取り組みとプロポーザルの主旨についての説明。 ・ 「実施要領」「仕様書」「審査要領」の説明
【実施要領、仕様書、審査要領に関する質疑応答】	
委 員	・ 実施要領 6 ページ「10 2 次審査 (1) 概要」に「全者において適切な提案がない場合 (総合点の得点率が 60% 未満程度) には、候補者として選定せず、プロポーザルの手続きを中止する。」という記載があるが、「60% 未満"程度"」としているのはなぜか
事務局	曖昧な表現のため「程度」を削除する。
委 員	実施要領 4 ページ「5 参加手続」では企画提案書等は原則公開とするとしているが、7 ページの「14 費用及び帰属」では「提出書類は既に公表されているものを除き原則として非公開」となっている。どちらが正しいか。
事務局	原則公開が正しいため、契約課のプロポーザルマニュアルを見直しし、「5 参加手続イ」の記載に合わせて修正する。
委員長	実施要領の 5 ページのプレゼンテーションについて、プレゼン参加者の人数は制限し

議事録

事務局	ないのか。人数に関する記載がない。 会場の広さ等も考慮すると人を厳選して参加してもらう対応が必要。人数等について追記する。
委員長	実施要領 2 ページ「3 参加資格要件 (8)」について、「(8) RPA 作成支援業務に関する実績について、令和 2 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日までの間に国又は地方公共団体等（国、地方公共団体又は公共法人）から契約を受注し、業務を完了した実績が 1 つ以上あること。」という記載について、一部業務完了は受け付けないという認識であっているか。
事務局	お見込みの通り。業務完了した実績だけ受け付ける。
委員	令和 2 年 4 月 1 日より前に契約し、複数年で完了した実績が拾えないが記載通りで良いか。
事務局	記載通りとする。期間内で受注し、業務を完了した実績を受け付けることとする。本事業は技術革新がある性質上、古い実績では受け付けない。
委員	今回の事業について、「RPA の作成」と「職員作成時のサポート」のどちらが本旨か。仕様書ではどちらも必要であることがわかるが、実施要領で求めている実績が「RPA 作成"支援"業務」となっているため、サポート対応に重きを置いている業者が来る可能性があるのではないか。
事務局	実績として求めたいのはサポートではなく「RPA 作成」。 実施要領の「RPA 作成"支援"業務」だと誤解される可能性があるため、「RPA 作成業務」と修正する。
委員	仕様書 5 ページ「2.7 RPA シナリオ作成、修正」に「(3)ヒアリングを実施した結果に基づき、RPA シナリオを作成すること。RPA シナリオは契約期間中に 15 本以上作成すること。」という記載があるが、5 年で 15 本は少ないのではないか。
事務局	記載誤り。年 5 本、5 年間で 25 本を想定しているため、仕様書を修正する。
委員	仕様書 5 ページ「2.7 RPA シナリオ作成、修正」について、委託事業者に作成してもらう業務の選定は誰が行うのか。
事務局	RPA 担当職員が行う。各課に照会し選定する予定。
委員	5 年間で 25 本が達成できなかった場合、通常は債務不履行となる。業務の選定を RPA 担当職員が行うのであれば、作業遅れ等で年間 25 本達成できなかった場合はどうす

議事録

事務局	るのか。 債務不履行とならないような対処が必要なのではないか。 仕様書の記載を変更する。具体的には「年間 25 本相当」とし、提案事項として、「事業者は本市にとって有効と考えられる業務について積極的に提案すること」と記載する。
委員	RPA シナリオ作成は本市のシステムをよく知る者のほうが円滑に作成出来るという要素はあるか。その要素が高い場合、評価基準として設ける必要はないか。
事務局	本市のシステムの知識よりも業務フローのヒアリングが重要となる。そのため、二次審査(プレゼンテーション)やその後の質問で確認して頂き、評価に反映して頂きたい。
委員	1 次評価に点数内訳が記載されている。
事務局	1 次評価は提出書類を事務的に採点するものであるため、提案事業者には点数内訳をオープンにしている。
委員長	「実施要領」、「仕様書」、「審査要領」については、今回の指摘事項を事務局で修正し、修正内容を委員長が確認し問題なければ決定とする。
各委員	異議なし
3 その他連絡事項について	
委員長	その他連絡事項について、事務局から説明を受ける。
事務局	- 今後のスケジュールの説明 - 第 2 回選定委員会は令和 7 年 5 月 28 日（水）13 時から、 - 第 3 回選定委員会は令和 7 年 6 月 6 日（金）10 時から。 - 開催場所等は後日通知する。
4 閉会	
委員長	閉会のあいさつ